

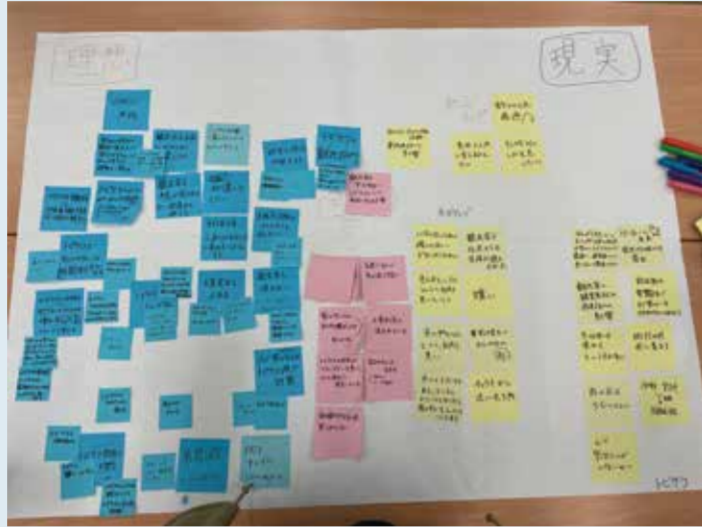
# 《活動》

不快害虫と呼ばれるトビケラの価値を伝え、川と共に生きる私たちにもたらしてくれる豊かさに感謝することをデザインを通して伝える

不快害虫とは？  
嫌味や気味が悪いなど不快な感じを与える虫のこと

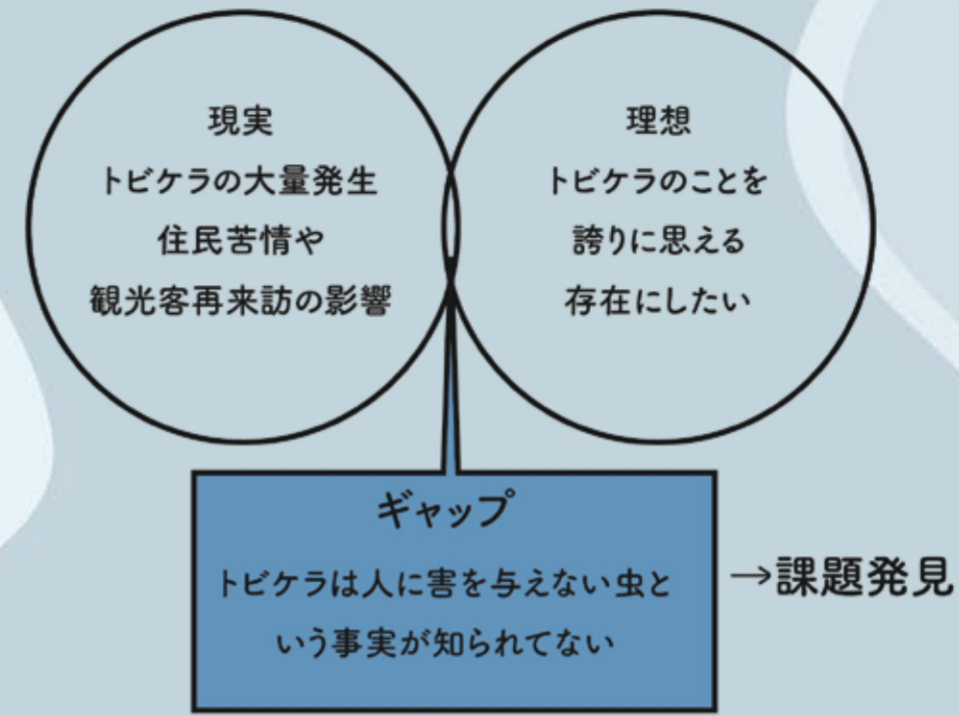
## ①ヒアリング

虫がどのような特性を持っているのか、地域でどのような被害を出しているのか、対策などを調査する



## ②課題を見つける

ヒアリングを経て、虫の価値を見つけ被害が出ている現実と私たちが叶えたい理想を照らし合わせ、そこに生まれたギャップを問題として捉える



## ③虫の認知活動 『おおきにとびけらさん』

不快な虫に対して自ら調べようと思ったりすることがないのでと考え、私たちは虫の特性を知り、嫌なイメージから良いイメージに変えていくことを目標にし、そのきっかけづくりをすることを始める

虫が私たちの生活に豊かさをもたらしてくれることに感謝するためにおおきにというフレーズと虫の羽の部分にハートに表現し、人々に親しみやすいマークを作成  
このマークを見たときに活動を思い出してもらえらることを目的に作成



## ④発表

地域のイベントへ参加や、自らイベントを発足し、発表を行い、地域に住む人々に知ってもらう機会を作る



## ⑤冊子やグッズの作成

読みやすい漫画冊子やロゴの入ったグッズを制作し、手に取ってもらいやすくし、活動を知ってもらうきっかけをさらに作る



とおきに  
とびけらさん

成安造形大学  
総合領域  
西村清美  
高木琉音  
中西若菜

大量発生が問題視されているトビケラ。川の付近に住む人々に気持ち悪いという印象を与えています。

しかし虫たちは私たちに害を与えることは一切なく、川と共にくらす私たちの生活に良い影響を与えてくれているのです。水の中で過ごす幼虫時代に植物プランクトン由来の有機物を食べ、水を綺麗にしてくれています。これらの有機物が増えてしまうと水は緑色になり汚くなります。また、水の中に住む魚の餌になったり、羽化し外へ飛ぶと鳥の餌となったりするなど、生態系を支える存在にもなっています。